

医療機関における参加型職場環境改善活動 作業環境調整 点滴調合台		
ガイドラインステップ	キーワード	
1 - 4 12 16	(6つ以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業環境改善 ・人間工学 ・合意形成 ・安価・簡単・即効性
改善・取組みの背景と課題	<p>平成 18 年から 20 年 にかけて、メンタルヘルスアクションチェックリストを用いた職場環境改善プログラムに従い、参加型職場環境改善活動を実施した。</p> <p>病棟における改善希望点として、点滴剤調合業務に関する作業負担の軽減が上がった。</p> <p>病棟業務において、点滴剤の調合は主たる業務の一つであるが、迅速かつ正確な清潔操作、および針刺し事故防止対策が求められるなど、精神的にも負担の大きい業務であるが、点滴調合業務の負担を減らす、高価な点滴調合台の規格品購入の予定は、未定であった。</p>	
改善・取組みの着眼点	<p>現状で実施可能な改善案が必要となった。</p> <p>余っていたカーテンレールと点滴フックおよび文書収納庫の上面を作業台として利用する代用案が考案されたが、身長の高いスタッフにとって無理な背伸び姿勢を強いるなどの作業姿勢上の問題が生じた。</p> <p>この作業姿勢による負担と疲労の軽減と、作業効率の改善を求めた。</p> <p>足台設置は、障害物になりうる可能性があったので、カーテンレールの位置を窓際から天井に変更を考えた。</p>	
改善・取組みの概要	<p>カーテンレールの設置部位の変更により、身長に関係なく作業が円滑に行えるようになった。</p> <p>水平展開例では、カーテンレールを 2 列、4 脚の点滴フックを用いて作業効率の改善を図った。 さらに 2 段重ねの物品収納庫を背中合わせに 1 段配置にすることで、収納庫 2 台の上面を点滴剤調合の専用作業台に転用した。</p> <p>なお、他病棟の師長も水平展開改善事例を即刻取り入れたが、スタッフの有効活用は得られなかった。</p>	

<p>写真・図表・ イラスト</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>改善後</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>水平展開例</p> </div>			
<p>効 果</p>	<p>点滴剤調合操作がやりやすくなり、負担感・疲労感の減少につながった。</p> <p>既存資材の有効な再利用により、改善費用の発生はほとんどなく、安価で簡単、即効性のある改善事例であった。</p> <p>現場のスタッフによる改善事例は、考案の過程でのコミュニケーション促進や職場チーム力強化につながり、その環境整備の成功体験は各スタッフの仕事に関する自己効力感の向上に結び付き、さらなる改善活動へと向かった。</p>			
<p>この GPS の 経験から学 ぶことができ るポイント</p>	<p>参加型職場環境改善活動は、現場の自主的問題解決に役立つ独創的安価な改善をうみだす。</p> <p>しかしながら、有用な改善事例であっても、スタッフが必要性を認識しない場合には活用されないケースも生じた。</p> <p>スタッフによる現場の問題点や解決への討議および合意形成は重要である。</p>			
<p>参考資料</p>	<p>[医療機関におけるメンタルヘルス向上のための職場環境チェックリスト] 吉川徹編 労働科学研究小出版部</p>			
<p>投稿者</p>	<p>坂田知子</p>	<p>e-mail</p>	<p>ftoku@csf.ne.jp</p>	<p>2009年12月14日</p>